



## 1997年度大学公開講座

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-07-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 石澤, 真紀夫 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/9259">https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/9259</a>

## 1997年度 大学公開講座

本年度は、大学での講座だけでなく、学外の地域の中へ飛び込んでいく、いわゆる出前の公開講座を成立させた。また、リカレント教育講座3本を開講したのが大きな特色で在ろう。

学内の講座は、昨年好評であり、受講者からも強く継続が要望された「コンピューター」「インターネット」についての内容が引き継いで行われた。

講座名「わたしのインターネット」、時期は6月2日から30日の毎週・月曜日であった。柱だてと講師は次の通りである。

第1回「光で結ぶピーマン・ジャガイモ・インターネット」	講師 若菜 博
第2回「インターネットでお仕事」	講師 宮下 英明
第3回「ボトムアップの快樂」	講師 入倉 伸一
第4回「インターネットに接続」	講師 菅原 健
第5回「インターネット」ミクロ探検隊	講師 蠣崎 悌司

申し込みは定員の50人をオーバーし盛会であり、機器を操作できず残念な表情の方が見受けられた。

学外の講座は、今まで僻地教育で大変お世話になった積丹町の教育委員会に声をかけて実施した。会場は美国町の建てられたばかりの総合文化センターであった。

講座名「今、一番大切なこと（心の触れ合いを求めて）」、10月3日（金）から24日（金）である。柱だてと、講師。

第1回「子どもの心とコミュニケーション」	講師 鹿内 信善
第2回「身体の動きとコミュニケーション」	講師 進藤貴美子
第3回「音・音楽とコミュニケーション」	講師 石澤真紀夫
第4回「小さな音楽会」	講師 鈴木しおり

初めての出前講座で参加者の数が心配であったが、教育委員会強い後押しで予想を越える参加があり、成功であった。申出により同地で次年度も継続が決定。

リカレント教育講座は、現職教員のための研究機関として本年から企画されたものであり、3つの講座が開設された。

講座名「現職教員を対象とした新しい情報教育講座」、6月12日（木）から7月31日（木）。柱だてと、講師。

第1回「インターネット情報化時代の新しい情報基礎教育」	講師 古村 孝志
第2回「インターネットを活用した新しい理科教育」	講師 若菜 博
第3回「情報化時代の新しい技術科教育」	講師 奥野 亮輔
第4回「マルチメディアを活用したわかる算数」	講師 宮下 英明
第5回「インターネットに接続しよう・高度情報化社会の光と影」	講師 菅原 健
第6回「インターネットを活用した英語・国際理解」	講師 村端 五郎
第7回「ホームページを作ろう1 ホームページ記述言語HTML」	講師 古村 孝志
	講師 若菜 博
第8回「ホームページを作ろう2 最新のWebページ表現技法」	講師 村端 五郎
	講師 宮下 英明

講座名「現職教員を対象とした“ことば”の講座」、6月14日（土）から9月27日（土）。柱だてと、講師。

第1回「人間にとっての“ことば”の意味」	講師 阿部 秀男
----------------------	----------

第2回「ことばと理論性および感受性」 講師 鈴木 明彦

第3回「アメリカにおける“国語”教育の問題点」 講師 オーステン・テレサ

第4回「外国語も含めたこれからの言語教育の在り方」 講師 佐藤 有

第5回「日本における国語教育の問題点」 講師 清野 隆

講座名「現職教員を対象とした“心とからだの”ワークショップ」、11月8日（土）から11月22日（土）。

柱だてと、講師。

第1回「からだとコミュニケーション」 講師 進藤貴美子 補助 戸田 弘二

第2回「ムーブメント法（心理—運動療法）」 講師 安井 友康 補助 戸田 弘二

第3回「行動測定法」 講師 金沢 克美 補助 戸田 弘二

第4回「ファンタジー・グループ」 講師 平野 直己 補助 戸田 弘二

内容についてはいずれも好評であったが、これからの課題としてPRの方法や、受付けの便宜に工夫が要求される。

文責 石澤真紀夫